

# キンメダイ漁業者を対象とした勉強会

室戸漁業指導所 大河 俊之

## 1 要約

芸東地区の若手・中堅キンメダイ釣漁業者（以下、キンメダイ漁業と呼称）の要望によりキンメダイ漁業に関する勉強会を2回実施した。参加人数はのべ36名で、漁協関係者、漁業者及び市町村職員が参加した。若手・中堅キンメダイ漁業者はのべ14名で、それぞれの会において7名が参加した。2回の講義でキンメダイ漁業における歴史的に重要なトピックをほぼ網羅することができ、若手・中堅キンメダイ漁業者に情報提供することができた。しかし、資料作成のための情報収集においては過去の出来事を知る漁業関係者が非常に少なくなっており、その他の漁業において同様の取組を行う場合、昭和40年代から平成初期の情報収集の早期実施が必要と考えられた。

## 2 背景及び目的

高知県東部で営まれているキンメダイ漁業は、平成23年から令和2年の平均年間漁獲金額が7億円と、高知県にとって重要な漁業種類である。しかし、令和3年度以降、漁獲量は黒潮大蛇行の影響により大きく減少しており（大河2024）、令和5年度の年間漁獲金額は0.4億円と、キンメダイ漁業者は厳しい状況に置かれている。

キンメダイ漁業に従事している主要漁業者の年齢構成をみると、近年は30代から50代の若手・中堅漁業者が過半数を占めている。これらの多くは平成26年以降に高知県や国の漁業就業者研修制度を活用した後に就業した地区外出身の移住者で、将来的には地元漁業の中核を担っていくことが期待されている。

最近、これらのキンメダイ漁業者から「キンメダイを漁獲する技術については一定のレベル以上で取得することができた。しかし、資源管理の話やこの漁業の歴史は先輩漁業者から断片的に聞いている程度である。自分たちで資源管理の方法を考え、地元で漁業調整を進めていくため、これまでの取組の内容を詳しく知りたい。」という声が当所に寄せられた。そこで、若手・中堅キンメダイ漁業者の育成を目的とした勉強会を実施することとした。

## 3 普及の内容及び特徴

県や市の資料や書籍、年配漁業者や漁協職員からの聞き取りをもとに、キンメダイの資源管理や生態、キンメダイ漁業を含めた釣漁業の歴史についてとりまとめ、勉強会を開催した。本取組は、漁業士の活動や地元漁業の申し合わせ事項を管理し、当所が事務局を担当している「芸東地区沿岸漁業協議会」の活動の一環として実施した。勉強会は、芸東地区（高知県東洋町、室戸市、奈半利町、安田町）のキンメダイ漁業者を対象とし、関係漁協に周知を依頼した。

## 4 成果及び活用

高知県東部のキンメダイ漁業は、昭和50年代に始まった比較的歴史が浅い漁業であるが、当時の歴史を知る漁業関係者は、高齢化による減少や漁協職員の退職により、想定以上に減少していた。このため、キンメダイ漁業の歴史に関して聞き取りができたのは、3人の漁業者と1名の漁協職員に限られた。今後、

その他の漁業に関する同様の取組を行うためには、昭和40年代から平成初期の情報収集の早期実施が必要と考えられた。

第1回の勉強会は、芸東地区沿岸漁業者協議会の総会で実施した（表1、写真1）。参加人数は27名で、うち漁協役員・職員は8名、市町村職員は3名で、漁業者は16名であった。漁業者のうち、若手・中堅キンメダイ漁業者の参加人数は7名であった。説明時間が予定を超過したことから発表中に質問はなかったが、会議終了後にキンメダイ小型魚の回遊について若手漁業者2名から質問があった。

第2回は9名が参加した（写真2）。参加者の内訳は、若手・中堅を含むキンメダイ漁業者7名、漁協職員2名であった。勉強会では、発表に関する質問から日々の操業への所感など、30分程度の活発な意見交換が行われた。勉強会の最後に、次回実施について参加者へ意思確認したところ、ほぼ全員から実施要望があった。

このため、第2回の質問内容を踏まえて第3回の実施を予定していたが（表1）、参加者との日程調整の結果、実施を令和6年度に延期した。

今後も県内外のキンメダイに関する最新の情報やキンメダイ漁以外の情報を提供し、若手・中堅漁業者のレベルアップや事業継続につなげていきたい。

#### 参考文献

大河俊之（2024）高知県室戸岬東岸において黒潮大蛇行の前後に生じた環境変動と地先漁業の変化．黒潮の資源海洋研究 25, 87-96.

表1．キンメダイ勉強会の内容

	年月日	場所	参加人数	内容	備考
第1回	R5.8.30	高知県漁協室戸統括支所	27名	<ul style="list-style-type: none"> <li>資源管理に関する議論の経緯</li> <li>令和3年以降の不漁原因</li> </ul>	芸東地区沿岸漁業者協議会総会において実施
第2回	R5.9.22	室戸総合庁舎	9名	<ul style="list-style-type: none"> <li>釣漁業の歴史（明治時代以降）</li> <li>キンメダイ漁業の歴史（漁場開発、掃海、ブランド化）</li> <li>地元ルール</li> </ul>	
第3回	未実施	—	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>地区外漁場（足摺海丘）</li> <li>単価変動</li> <li>標識放流</li> <li>漁場水深と水温</li> </ul>	



写真 1 . 第 1 回勉強会の状況



写真 2 . 第 2 回勉強会の状況